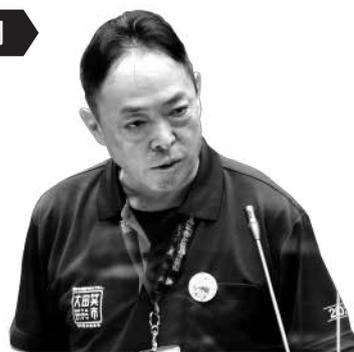


インターネット「Makuake」
ふるさと納税型クラウド
ファンディング会社」を活用
したまちづくりについて



中川 雅之 議員

一般質問



星 雅人 議員

大田原市公共施設
個別施設計画と施設
の活用について

質問…全国の自治体では、インターネット「Makuake」

を活用した新たなまちづくりを推進しており、本市においても「Makuake」を活用したまちづくりの推進が図れないものか市の考えを伺います。

答弁…「Makuake」とは、株式会社マクアケが運営するクラウドファンディングサービスのことで、設立以来4000件

を超えるプロジェクトが実施されています。同社は、地方自治

体が主体となりプロジェクトを立ち上げ、寄付をインターネット上で募るふるさと納税型クラウドファンディングも手掛けており、これが「Makuake

ガバメント」と呼ばれるもので、本市においても、市が委託しているふるさと納税ポータルサイト運営事業者のふるさと納税型

クラウドファンディングを活用し、昨年度は、眼科検診用屈折

検査機器の購入のために寄付を募った所です。ふるさと納税型クラウドファンディングは、寄付控除の仕組みを活用しながら、地域の課題の解決や魅力を発信

していく上で有効な手法と考えられています。より多くの方に賛同を得て、事業に活用できるように引き続き研究していきます。

質問…大田原市公共施設個別施設計画第5章の実施計画の改修

等実施スケジュールには、今後10年間で行われる大規模改修、長寿命化改修、取壊しの予定が書かれています。2026年には湯津上温泉やすらぎの湯、2029年には総合文化会館、2030年には大田原市生涯学習センター等の取壊しが予定されています。第5章の実施計画に

おいて、今後取壊し（廃止や統合）が検討、決定されている施設について考え方を伺います。

答弁…本計画第5章の実施計画では、建物ごとの経過年数や対応する工事種別と時期及びその金額について記載しています。取壊しとなる施設の検討に当たっては、建物の構造や経過年

数、利用状況、劣化度などを客観的に判定した結果と施設の必

要性、安全性、更新に必要な費用、

建て替え、代替施設の有無などを十分に検討した結果を総合的に判断しました。対象となった施設につきましては、利用されている皆様にはご不便を来すこともありますので、事業の執行

に際して利用者の皆様と意見の調整や計画の周知などを丁寧に行っていききたいと考えています。